

『2007年1月1日から2012年5月31日までの間に川崎医科大学附属病院および川崎医科大学総合医療センター（旧附属川崎病院）で中皮腫の手術を受けられた患者さんへのお知らせ』

研究課題名：胸膜中皮腫におけるミッドカイン発現とその臨床的意義に関する研究

川崎医科大学総合外科学・呼吸器外科学・総合内科学4では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の審査・承認を得て、2007年1月1日から2012年5月31日までに胸膜中皮腫の手術あるいは診断のための生検を受けられた患者さんを対象に、切除および生検組織を用いて癌が産生する特定蛋白につき研究を行っております。具体的には癌の増殖や進展に関与するMidkine蛋白の発現を調べます。研究に使用する情報は治療法、再発の有無、再発日、アスベスト暴露歴、喫煙歴等です。

あらたに血液や組織を採取することはありません。また個人が同定できる情報も収集いたしません。研究期間は2012年7月9日から2023年8月31日までです。

この研究は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の支援を受けて実施し、その期間が終了後は研究責任者の教員研究費で行います。

呼吸器外科学教室は日本イーラーリリー株式会社、協和発酵キリン株式会社、CSK ベーリング株式会社から、総合内科学4教室は中外製薬株式会社、アストラゼネカ株式会社、日本イーライリリー株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム、協和発酵キリン株式会社、大鵬製薬株式会社、ファイザー株式会社から、総合外科学教室は大鵬薬品工業株式会社、科研製薬株式会社、中外製薬株式会社、がん集学的治療研究財団、第一三共株式会社、株式会社大塚製薬工場、味の素製薬株式会社、武田薬品工業株式会社、ファイザー株式会社からの奨学寄附金の受け入れがあり、また総合内科学4は、日本ベーリンガーインゲルハイムより受託研究費及び瀧川奈義夫教授の講演料として個人的収入の受け入れはありますが、本学の利益相反委員会へ申告し、利益相反（他者から資金の提供を受けることにより、その結果の判断にひずみが生じかねない状態になることを利益相反状態といいます）は適正に管理されています。

この臨床試験で得られた成果は国内外の学術集会で発表したり、専門雑誌に発表するかたちで公にいたします。また、情報・試料は将来の研究のために2次利用させて頂く可能性がございます。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問い合わせ先 川崎医科大学総合医療センター外科 部長 山辻 知樹

TEL 川崎医科大学総合医療センター (086-225-2111)

総合外科学教室(内線 85219)